

サン・さんニュースレター

今月のトピックス…・タイトルが決まりましたーッ！

- ・ゴジてれシャトルに取材に来ていただきました。
- ・補助金事情
- ・冷夏の間を見て、海水浴に行ってきました。
- ・Q & Aコーナー

秋の夜長、皆さんいかがお過ごしですか？

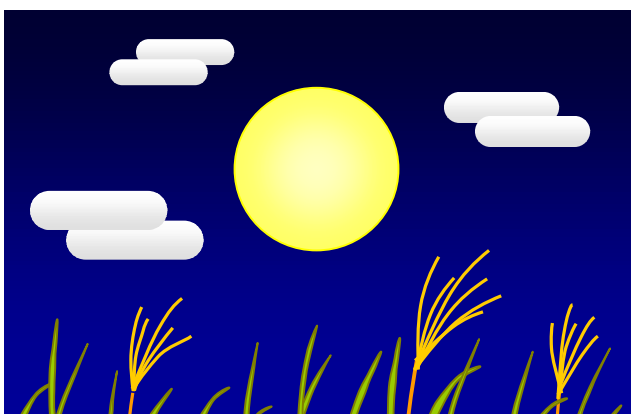
タイトルが決まりました

皆さんこんにちは！全国ソーラールーフ協会福島事務局（株）カノウヤの樋口です。

今月は話題が目白押しです。まずは、このニュースレターのタイトルが決まりました。創刊号では『サン・さんニュースレター（仮）』と、仮称にしていたところ、「太陽の陽だまりの暖かな感じが出て良いんじゃない！」と、たくさんの方から賛同の声をいただきました。

実は仮称にしていながら私の心の中では“これしかナイ！”と、決めていたのですが…（笑）。

皆様から多数の声をいただけて、頼もしい限りです。これからも新しい情報を提供して行こうと思っていますので、『サン・さんニュースレター』をよろしくをお願いしますね。



9月と言えばお月見ですね。月光では太陽光発電システムは発電しませんが、お月様がきれいだと嬉しくなりますね。

テレビ出演決定！

FCTゴジてれシャトル・7月22日

さて、そうこうしているうちに、実は大きなニュースが飛び込んで来ました。ジャーン！なんと再び(?)私がテレビに出る事になったのです！創刊号ではTV放送と言っても、ほんの3秒位の話でしたが（お恥ずかしい…）、今回はなんと、15分位の内容になっています。



創刊号でも少し書いたのですが、フリーのディレクターをされている水谷さんから電話が入ったのです。「ゴジてれシャトルのお調べ隊というコーナーに、太陽光発電に関する質問が来たんです。太陽光発電と言ったら樋口さんしかいないと思ひまして、是非話を聞かせて欲しいと思ったんです」と、嬉しいお言葉（涙）。その場で受話器を持ったまま「よろしくをお願いします！」と、深々と頭を下げてしまいました。

内容の構成上、ウチで設置した方へのインタビューも撮りたいという事で、設

置第一号の滝沢さんをお願いしました。滝沢さんは、環境問題について研究する会を組織していて、太陽光発電が皆様に理解されるならと、快くOKしてくれました。



滝沢さんのお宅での撮影風景

そして取材当日。まぶしい夏の日差しの中、きらきら光る太陽光パネル…というイメージをしていたのですが、あいにくの雨(ガクッ…)。

撮影は、水谷さん、アナウンサーの須賀さん、カメラマン、録音の方、サポートの方の5人体制で、打ち合わせ後、撮影に入りました。始めは特に緊張はしていませんでしたが、モニターに自分の姿が映っているのを見た時はさすがにカメラを意識してしまいました…(汗)。



そんなこんなで、つつがなく取材は終わりました。放送された内容を見てみると、私のインタビューだけではなく、須賀アナウンサーが体験した自転車のダイナモ発電、太陽光発電システムの仕組みなどが、短時間で分かりやすくまとめられました。太陽光発電システムを知らない方にでも楽しんでいただける内容になっています。

詳しい内容は7月22日放送のゴジてれシャトルをご覧ください、と言いたかったのですが、現在は9月。レター発行の都合上、前回7月号では紹介できなかったのです(皆さん、ごめんなさいっ！)。

と、いう訳で、今回放送された内容を収めたビデオテープを、ご希望の方**20名にプレゼントいたします**。同封のハガキに『ビデオ希望』と記入してお送り下さい。

それにしても、たった15分の番組を作るのにあれほどの時間(私と滝沢さんのインタビューだけでも4時間!)と労力を費やすとは驚きでした。しかも何と、取材の3日後にはオンエアされるんですから本当に凄いなと思いました。水谷ディレクター曰く、「その日の内に徹夜してでも作ったほうが、いい内容になるんですよ」との事でした。

それに、水谷ディレクターも須賀アナウンサーも、取材前にちゃんと太陽光発電システムについて勉強をされていた事には感心させられました。それでも、一般の視聴者の視線の高さでの取材。私たちにとってはパネルの上に上がれるという事は当たり前の事なのですが、そういった事にも注目してできた番組は、見ていてとても楽しい内容に仕上がっていました。

このような事が、ゴジてれシャトルが高い視聴率を取っている秘訣なのでしょうね。



さて、気になる番組放送後の反響なんです、**さすがテレビの威力**。放送は夕方忙しい時間帯でしたが、たくさんの方からのお問い合わせをいただきました。ただ、私はその日山形での講演会に出席していた為、その場に居合わせなかったのです。スタッフが言うには、番組内で電話番号が表示された時から30分間は電話が鳴りっ放しで、**大変ながらも嬉しい悲鳴だった**そうです。

この時お問い合わせいただいた方で、現在2名の方から申し込みをいただいています！高価なものですし、契約するにも数週間から数ヶ月かかるのがほとんどですが、ビビッと感じる方は感じるんですね。

補助金事情

それにしても今年度は特別な状況です。新エネルギー財団(NEF)のホームページを見ると、補助金の応募申込み件数が出てるのですが、9月4日現在で22,804件。平均3.8kwなので、**全体予算の74%をたった4ヶ月使ってしまう勢い**になっています。

不況下でものが売れないという時代に、こんなに高額な物が売れている(しかも一昨年より補助金も減ったのに)。これは一体どういう事でしょう？いくら環境に優しいからといっても、それだけではこんなに多くの方は設置されませんよね。

実際設置された方はもうおわかりですよ。そう、**高いお金を払ってもそれだけメリットがあるという事が、最近ようやく理解され出してきた**という事だと思います。

とはいっても、これまでの設置件数を累計しても約12万件。**全世帯の1%にも届かない**のです(現在の普及率は約0.5%)。これから設置の勢いはまだまだ増すと思いますが、現在すでに設置されている方は、**時代の先端を走る**トップ1%の方々だという事が言えます。

まだ設置していない方は、是非早くトップ1%の仲間に入りましょう。**新しい世界が見えてきますよ！**すでに設置されている方も、是非お友達・お知り合いの方にこの情報をお伝え下さい。

もしお知り合いの方にこのニュースレターを紹介したい場合は、返信ハガキにお知り合いの方のお名前とご住所を書いていただければ、こちらから直接お届けいたしますので、よろしく願いいたします。

海へ行ってきました～

今年の夏は一体どうなっているのでしょうか。真っ赤に照りつける**太陽はどこへ行ってしまった**のでしょうか。

私の会社は屋根工事店なので、夏場にジリジリと焼かれるのは慣れているのですが、今年はそんな日も少なくほとんど曇りか雨。夏らしい日が少ないまま秋が近づいてきました。

そんな中、日頃出張やら残業やらで、**子供不幸**をしているので、たまにはパパらしい事をしてあげようと思い、海水浴へ行ってきました。

やはり皆さん考える事は一緒に、駐車場は、家族連れやカップルたちの車でぎっしりと埋め尽くされていました。ひたすら待つ事20分。何とか車を止め、

Q&Aコーナー

浮き輪を膨らまし、しっかりとラジオ体操をしてから海へ入りました。毎年の事ながら、海に飛び込んだ直後は水がとても冷たく感じるのですが、時間が経つと慣れてくるあの感覚が不思議です。



大はしゃぎの静也(右)と巧也(左)と、私(右上)

子供たちは大はしゃぎで、水をかけあったり浮き輪を付けてバシャバシャと泳いでいました。そのうち二人とも、遊泳範囲を区切るブイの所まで泳いで行くではありませんか。浮き輪をしているとはいえ、“小さいのに達者だなぁ”と思いました(親バカでしょうか?)、浜に上がり、ビールを飲んで横になり、海辺で遊ぶ子供たちの元気な姿を遠くから眺めるお父さんでした。(誰ですか?“水着のオネーチャンを見ていたんだろ”って言う人は?)



ポニョポニョのお腹を引き締めてピース!(撮影・妻)

Q、屋根に太陽電池パネルを載せても、地震のとき大丈夫ですか?

A、大丈夫です。最近起きた宮城県北部地震で、皆さん心配になられたかと思われまます。確かに、屋根にものを載せたら、地震の時に重みで崩れたりするんじゃないかと心配になりますね。でも太陽光電池パネルの重さは、全くと言っていい程気にしなくて良いのです。

例えば標準的な3kwシステムで約300kg(大人約5人分程)です。その重さが屋根一面(約24㎡)に均等にかかりますので、1㎡あたりはわずか12.5kgです。よく屋根に設置してあるソーラー温水器は、水の重さもあって1㎡あたり約100kgかかります。こちらの方が屋根に対する負担が大きいと言えます。

地震に対する耐久力というのは、重さよりも地盤や基礎、壁の面積に依存する事がほとんどです。ですから家の構造が不安定な場合はそちらを考慮しなければなりません。パネルの重さ自体は全く影響しないと言っていいのです。

私どもが心配するのは、むしろ風による舞い上がりです。その為メーカーでは施工に関して厳格な基準を設けており、専門の研修を受け認定を受けた業者でなければ、その施工はできないのです。当社と当社の職人は、その認定と研修を受けております。

次回は11月発行予定です。設置された方々へのインタビューを掲載します。では、またお会いしましょう!

～㈱カノウヤ 太陽光発電事業部のミッション～

- 1、太陽光発電システムを通じて、皆様の環境保全活動と資産保全のお手伝いをさせていただき、クリーンな自家発電の感動をお伝えする。
- 2、素晴らしい方々との出会いを大切に、その方々に役立つ情報を惜しみなく提供する。

〒960-0684 福島県伊達郡保原町字万所26
(株)カノウヤ 太陽光発電事業部

ニュースレター係

TEL 024-575-2308

FAX 024-576-2204